

# 戯曲／演出 集中キャンプ

上演を前提とした戯曲賞であるAAF戯曲賞では、2015年から「戯曲とは何か？」をテーマに掲げています。

今回の集中キャンプではナビゲーターにAAF戯曲賞受賞者である萩原雄太氏を迎え、多彩なゲスト講師とともに「戯曲とは何か？」「演出とは何か？」について向き合いそれぞれの活動の中でどのように活かせるか？に取り組む講座を行います。普段の活動から一歩踏み出してみたい方、お待ちしております！

## 戯曲コース

**日程** 2024年2月29日(木)-3月3日(日)  
2月29日(木)-3月2日(土) 13:00-20:00  
3月3日(日) 11:00-20:00

**ゲスト講師** 温又柔(作家) 荘子 it (Dos Monosトラックメイカー・ラッパー)  
竹中 香子(プロデューサー・俳優・日仏通訳・演劇教育)  
Sankar Venkateswaran(演出家) ※オンライン・通訳あり

戯曲とは文学でしょうか？それとも設計図？あるいはスコア？それらのどれでもあり、どれもでない「戯曲」というメディアについて、仮に「言葉が書かれたもの」と定義してみます。わたしたちは今、どのような「言葉」を使っているのでしょうか？「言葉」は今、どのような役割を果たすのか？じっくりと言葉に向き合う4日間を過ごしましょう。  
※3月3日(日)のAAF戯曲賞関連シンポジウム「戯曲賞を考える」がプログラムに含まれます。



What is Drama?

戯曲とは、何か？

## 演出コース

**日程** 2024年3月7日(木)-10日(日)  
3月7日(木)-8日(金) 13:00-20:00  
9日(土) 10:00-20:00  
10日(日) 13:00-19:00

**ゲスト講師** 山本 浩貴(小説家・デザイナー・批評家・編集者・いぬのせなか座主宰)  
広瀬 浩二郎(国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授)  
志賀 理江子(写真家)  
Kate Valk(TheWoosterGroup演出家) ※オンライン・通訳あり

演出とは、つまり「よく読んで、リアライズすること」ではないでしょうか？この時、読む対象は戯曲だけでなく、小説や詩などの文学作品、楽譜、絵画、身体、街など、あらゆるものが含まれます。それをよく読む。すくく読む。深く読む。そして、別の形にリアライズする。演出という沃野から、あなた自身の方法を掴むための道具を提供します。



Yuta Hagiwara

萩原 雄太(演出家・第13回AAF戯曲賞受賞者)

演出家・かめめマシーン主宰。主な作品に『福島でゴドーを待ちながら』、日本国憲法を扱った『俺が代』、シアター・コムズ18に招聘された『しあわせな日々』、『電話演劇シリーズ』など。22-23年度セゾンフェロー1。  
TheatreTreffen International Forum(ベルリン)参加。  
23年にはAsian Cultural CouncilフェローとしてNYに滞在。

両コースとも「上手くやるためのハウツー」を身につける場にはなりません。その代わりに、各ジャンルから招いた講師の視点、各地からこの場に集った人々の視点を通じて、自分が本当に作りたいものを探す場になっています。

ナビゲーター

プログラム内容

会場

愛知芸術文化センター12階  
アートスペースC、Dほか

参加料

各コース3,000円  
(U35 1,500円)

人数

各コース5～10名程度  
※応募者多数の場合、選考を行う  
可能性があります。

締切

2月5日(月)

申込方法

メールでお申込みください。

ws2@aaf.or.jp

件名に『集中キャンプ』申込み

本文に ①希望コース(戯曲コースまたは演出コース) ②お名前(ふりがな) ③連絡先(メールアドレス・電話番号)  
④年齢 ⑤参加動機(400～800文字)

※各コースへの参加は4日間連続で参加できることが条件です。

※定員に余裕がある場合、ゲスト講師の講義(120分のみ)の聴講も受け付けます。詳細は2月中旬以降、ウェブサイトに掲載します。

ご記入いただいた個人情報は愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)にて厳重に管理し、当劇場の普及啓発事業を運営するために使用し、それ以外に使用しません。

関連講座

## AAF戯曲賞関連シンポジウム “戯曲賞”を考える

日時 3月3日(日) 14:00～17:00

会場 愛知芸術文化センター12階  
アートスペースA

参加料 無料(予約不要)

愛知県芸術劇場が主催するAAF戯曲賞は上演を前提とした戯曲賞です。日本国内を見渡すと‘出版社の戯曲賞’‘地域の戯曲賞’など様々な戯曲賞があります。コロナ禍を経て演劇界が揺れる今、戯曲賞には何が求められているのか…。普段表に出ない戯曲賞運営者たちが本音を語ります。

ナビゲーター	山本 麦子 愛知県芸術劇場プロデューサー AAF戯曲賞担当	ゲスト	和久田 頼男 白水社編集部 岸田国土戯曲賞担当	市川 浩康 公益財団法人北海道文化財団 北海道戯曲賞担当	山納 洋 大阪ガスネットワーク(株)事業基盤部 OMS戯曲賞担当
--------	-------------------------------------	-----	-------------------------------	------------------------------------	--

主催  
お問合せ

愛知県芸術劇場

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 TEL 052-211-7333 (10:00-18:00)

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

